

平成23年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年9月10日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 共和工業所

コード番号 5971 URL <http://www.kyowakogyosyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 徹

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 笠本 廣業

TEL 0761-21-0531

四半期報告書提出予定日 平成22年9月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年4月期第1四半期の業績(平成22年5月1日～平成22年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年4月期第1四半期	2,607	154.5	498	—	506	—	344	—
22年4月期第1四半期	1,024	△65.5	△174	—	△115	—	△41	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年4月期第1四半期	50.75	—
22年4月期第1四半期	△6.17	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年4月期第1四半期	9,982	7,189	72.0	1,058.32
22年4月期	9,396	6,965	74.1	1,025.27

(参考) 自己資本 23年4月期第1四半期 7,189百万円 22年4月期 6,965百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年4月期	—	0.00	—	15.00	15.00
23年4月期	—	—	—	—	—
23年4月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年4月期の業績予想(平成22年5月1日～平成23年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,200	121.2	770	—	780	—	500	—	73.60
通期	10,200	62.8	1,190	587.3	1,210	295.0	750	287.3	110.41

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、添付資料3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年4月期1Q 6,800,000株 22年4月期 6,800,000株

② 期末自己株式数 23年4月期1Q 7,152株 22年4月期 6,187株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年4月期1Q 6,793,268株 22年4月期1Q 6,793,813株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. その他の情報	P. 3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 3
3. 四半期財務諸表	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	P. 7
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8
4. 補足情報	P. 9
販売実績	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間における我が国経済は、政府の経済対策の効果などから、一部に回復の兆しがあるものの、株式相場の低迷、為替の円高傾向によって、雇用環境や個人消費に依然として厳しい状況が続いております。また、海外におきましても、北米・欧州などの先進国では厳しい状況が続いておりますが、中国などの新興国では回復基調が鮮明となっております。その結果、当社におきましても、当社の主力である建設機械向け製品の需要は、中国などの新興国からの需要が牽引し回復傾向となりました。

当第1四半期会計期間は、売上高は26億7百万円（前年同期比154.5%増、15億83百万円増）、経常利益5億6百万円（前年同期は経常損失1億15百万円）、四半期純利益3億44百万円（前年同期は四半期純損失41百万円）の増収増益となりました。

主要な事業部門別の概況は以下のとおりであります。

「建設機械部門」

建設機械部門の売上高は、国内売上17億36百万円（前年同期比173.2%増、11億円増）、海外売上4億68百万円（前年同期比394.5%増、3億73百万円増）となりました。

当社の主力である建設機械向け製品の受注は、日本・北米・欧州において、前年同期プラスで推移し、中国などの新興国需要は大幅に増加しております。

「自動車関連部門」

自動車関連部門の売上高は2億74百万円（前年同期比27.0%増、58百万円増）となりました。

自動車業界も回復基調にあります。

「産業機械部門」

産業機械部門の売上高は、61百万円（前年同期比198.4%増、40百万円増）となりました。

当部門も回復基調により、増加となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第1四半期会計期間末の総資産は前事業年度末と比べ5億86百万円増加し、99億82百万円となりました。これは主に、現金及び預金が46百万円、有価証券が50百万円、有形固定資産が1億11百万円それぞれ減少したものの、受取手形及び売掛金が7億41百万円、たな卸資産が69百万円、投資有価証券が21百万円それぞれ増加したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期会計期間末の負債は前事業年度末と比べ3億63百万円増加し、27億93百万円となりました。これは主に、賞与引当金が61百万円、長期借入金が49百万円、役員退職慰労引当金が43百万円それぞれ減少したものの、支払手形及び買掛金が3億93百万円、未払金が87百万円、未払法人税等が52百万円それぞれ増加したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末の純資産は前事業年度と比べ2億23百万円増加し、71億89百万円となりました。これは主に、利益剰余金が2億42百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、8億91百万円となり、前事業年度末に比較して46百万円減少しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前四半期純利益 5 億 51 百万円、減価償却費 1 億 30 百万円、仕入債務の増加 3 億 93 百万円などを計上しましたが、一方で、売上債権の増加 7 億 41 百万円、法人税等の支払額 1 億 31 百万円を計上したことを主な要因として、営業活動により 1 億円の資金を得ました (前年同期比 2 億 80 百万円の収入減)。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得に 2 百万円、投資有価証券の取得に 52 百万円充当しましたが、有価証券の償還が 50 百万円あったことから、投資活動に 7 百万円の資金を要しました (前年同期比 3 億 86 百万円の支出減)。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払に 1 億 5 百万円、長期借入金の返済に 33 百万円の資金を充当したことから、財務活動により 1 億 39 百万円の資金を要しました (前年同期比 12 百万円の支出減)。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第 1 四半期会計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成 22 年 6 月 11 日付当社「平成 22 年 4 月期決算短信 (非連結)」にて発表いたしました平成 23 年 4 月期の第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想を修正しております。詳細は、本日別途開示いたします「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

① たな卸資産の評価方法

たな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前事業年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第 1 四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第 18 号平成 20 年 3 月 31 日) 及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 21 号平成 20 年 3 月 31 日) を適用しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年7月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,971,879	2,018,850
受取手形及び売掛金	3,154,470	2,412,538
商品及び製品	186,870	160,558
仕掛品	160,214	129,895
原材料及び貯蔵品	102,587	90,056
その他	74,696	163,260
貸倒引当金	△633	—
流動資産合計	5,650,086	4,975,159
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	877,123	891,294
機械及び装置（純額）	1,523,919	1,607,218
その他（純額）	833,279	847,266
有形固定資産合計	3,234,322	3,345,779
無形固定資産		
投資その他の資産	6,586	7,113
投資有価証券	934,907	913,839
その他	186,436	183,830
貸倒引当金	△29,449	△29,449
投資その他の資産合計	1,091,894	1,068,220
固定資産合計	4,332,803	4,421,113
資産合計	9,982,890	9,396,273
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,352,805	959,640
未払法人税等	188,652	135,696
賞与引当金	62,859	124,496
その他	615,150	529,728
流動負債合計	2,219,468	1,749,560
固定負債		
長期借入金	101,100	150,990
退職給付引当金	163,573	160,433
役員退職慰労引当金	187,726	231,222
その他	122,021	138,566
固定負債合計	574,420	681,212
負債合計	2,793,888	2,430,772

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年7月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	592,000	592,000
資本剰余金	464,241	464,241
利益剰余金	5,900,460	5,657,595
自己株式	△5,928	△5,332
株主資本合計	6,950,774	6,708,504
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	238,226	256,995
評価・換算差額等合計	238,226	256,995
純資産合計	7,189,001	6,965,500
負債純資産合計	9,982,890	9,396,273

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)
売上高	1,024,557	2,607,735
売上原価	1,045,305	1,880,227
売上総利益又は売上総損失(△)	△20,748	727,508
販売費及び一般管理費	153,894	228,734
営業利益又は営業損失(△)	△174,643	498,773
営業外収益		
受取利息	2,368	1,099
受取配当金	6,828	4,132
助成金収入	39,842	2,487
その他	12,028	871
営業外収益合計	61,067	8,590
営業外費用		
支払利息	1,505	923
営業外費用合計	1,505	923
経常利益又は経常損失(△)	△115,080	506,440
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	27,359	46,288
補助金収入	63,800	—
特別利益合計	91,159	46,288
特別損失		
固定資産除却損	50	1,049
固定資産圧縮損	63,800	—
特別損失合計	63,850	1,049
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△87,771	551,678
法人税、住民税及び事業税	579	185,461
法人税等調整額	△46,419	21,445
法人税等合計	△45,839	206,906
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△41,931	344,772

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△87,771	551,678
減価償却費	162,322	130,038
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△60,039	△61,637
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	633
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△9,172	3,139
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△26,595	△43,496
受取利息及び受取配当金	△9,197	△5,231
支払利息	1,505	923
固定資産除却損	50	1,049
固定資産圧縮損	63,800	—
補助金収入	△63,800	—
売上債権の増減額 (△は増加)	242,248	△741,932
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△23,970	△69,163
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,121	393,165
その他	129,024	67,404
小計	309,283	226,573
利息及び配当金の受取額	9,694	5,616
利息の支払額	△1,439	△615
補助金の受取額	63,800	—
法人税等の支払額	—	△131,211
営業活動によるキャッシュ・フロー	381,338	100,364
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,000	△80,000
定期預金の払戻による収入	30,000	80,000
有形固定資産の取得による支出	△389,482	△2,432
有価証券の償還による収入	—	50,000
投資有価証券の取得による支出	△3,843	△52,593
その他	△1,235	△2,606
投資活動によるキャッシュ・フロー	△394,561	△7,632
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△49,890	△33,260
自己株式の取得による支出	—	△595
配当金の支払額	△102,405	△105,847
財務活動によるキャッシュ・フロー	△152,295	△139,703
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△165,518	△46,971
現金及び現金同等物の期首残高	884,315	938,850
現金及び現金同等物の四半期末残高	718,796	891,879

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

販売実績

当第1四半期会計期間の販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門の名称	当第1四半期会計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)	前年同四半期比 (%)
建設機械 (千円)	2,204,553	301.9
自動車関連 (千円)	274,902	127.0
産業機械 (千円)	61,054	298.4
その他 (千円)	67,225	117.0
合計 (千円)	2,607,735	254.5

(注) 1. 金額は販売価格によります。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 前第1四半期会計期間及び当第1四半期会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期会計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年7月31日)		当第1四半期会計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
(株)小松製作所	217,732	21.3	471,012	18.1
ファスナーテック貿易(株)	—	—	405,857	15.6
コマツ物流(株)	—	—	340,932	13.1
コベルコ建機(株)	—	—	262,064	10.0

(注) 前第1四半期会計期間のファスナーテック貿易(株)、コマツ物流(株)及びコベルコ建機(株)への販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合については、当該割合が100分の10未満となっているため記載を省略しております。

4. 前第1四半期会計期間及び当第1四半期会計期間の主要な輸出先及び輸出版売高及び割合は、次のとおりであります。

なお、()内は総販売実績に対する輸出版売高の割合であります。

輸出先	前第1四半期会計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年7月31日)		当第1四半期会計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
北米	—	—	100,567	21.5
アジア	—	—	358,999	76.7
欧州	—	—	8,551	1.8
合計	— (—%)	—	468,118 (18.0%)	100.0

(注) 前第1四半期会計期間は総販売実績に対する輸出版売高の割合が100分の10未満であるため記載しておりません。

以上